

人工海浜における海浜イベントの実施と利用者の反応に関する研究

千葉工業大学生命環境科学科 学生員 ○千葉 耀太
 千葉工業大学生命環境科学科 学生員 野辺 裕太
 千葉工業大学生命環境科学科 フェロー 矢内 栄二

1. はじめに

「いなげの浜」は、東京湾奥部に位置するレクリエーション目的とした国内初の人工海浜である。年々利用者が減少しているため、いなげの浜を運営する千葉市は、利用者増加のため利用者参加型のイベントの実施を考えている。

著者らは、利用者を増加させることを目的とした利用者意識についてのアンケート調査を2003年から実施しているが、今年は新たに冬の利用者の増加に着目し、2012年12月に「星空マラソン」が開催されることから、イベントの参加者に対して利用者の意識調査を行った。また、夏季にイベントを実施してイベント効果の分析をし、冬季と夏季のイベントについて、利用者の反応を解析する。

2. イベントの実施と利用者の反応

調査海浜は、図-1に示す千葉県千葉市に位置するいなげの浜である。調査期間は2012年4月～2012年12月までの9ヶ月とし、午後1時～午後2時に利用者へアンケート調査を実施した。また、夏季イベントの調査日は2012年8月26日、冬季イベントの調査日は2012年12月7日である。

表-1は、アンケート調査の設問内容を示したものである。性別、いなげの浜の印象、冬でも浜に来なくなるイベントなど17項目とした。

表-2は、夏季イベント時のアンケート調査の設問内容を示したものである。気に入った作品、イベント増加時の利用頻度など6項目とした。

表-3は、冬季イベント時のアンケート調査の設問内容である。参加する種目、参加した理由など8項目とした。

(1) 夏季イベントの対象層の選定

図-2は、夏の浜利用者の構成(2012年6月～2012年8月)を示したものである。夏季の浜の利用者は、家族連れの利用者、友達と来ている利用者が多いことから、イベント対象層を「子供連れの家族」と「10～20代の友達グループ」とした。



図-1 調査地点

表-1 設問内容

設問	アンケートの設問内容
1	あなたの性別を教えてください
2	あなたの年齢を教えてください
3	あなたは今日、誰と来ましたか
4	あなたは今日、どこから来ましたか
5	あなたは今日、どのような手段で来ましたか
6	今日、どのような目的で浜を利用していますか
7	あなたはどのくらいの頻度でいなげの浜を利用していますか
8	いなげの浜のゴミについてどう思いますか
9	浜のゴミは誰が清掃すべきですか
10	ゴミを減らす手段として最適なのはつぎのどれだと思いますか
11	いなげの浜の良い印象はありますか
12	いなげの浜の悪い印象はありますか
13	いなげの浜を将来的にどのようにしたら良いと思いますか
14	現在のいなげの浜をどう思いますか
15	イベントの宣伝方法はどのような方法が効果的だと思いますか
16	冬のイベントとして、どのようなイベントに参加したいですか

表-2 設問内容 (夏季)

設問	アンケートの設問内容
1	気に入った作品
2	あなたの年齢を教えてください
3	あなたは今日、誰と来ましたか
4	あなたは今日、どこから来ましたか
5	このようなイベントを増やしてほしいか
6	イベント増加時の利用頻度

表-3 設問内容 (冬季)

設問	アンケートの設問内容
1	あなたの参加する種目はどれですか
2	あなたは今日、どこから来ましたか
3	あなたは今日、誰と来ましたか
4	あなたの年齢を教えてください
5	星空マラソンを知ったきっかけはなんですか
6	星空マラソンに参加した理由はなんですか
7	冬のイベントとして、どのようなイベントに参加したいですか
8	感想や意見を自由にお書き下さい

(2) 実施するイベントの選定

2011 年の利用者の望むイベントの集計結果を図-3 に示す。ここで、獲得票が 10%未満のものは「その他」に分類した。「砂の彫刻」が 21%、「海岸清掃イベント」が 14%、「海辺の安全教室」が 11%、「はだしマラソン」と「ビーチコーミング」が 10%となったことから、2012 年は希望が最も多い「砂の彫刻」を開催することとした。

(3) 夏季イベントの参加者の反応

図-3 は、夏季イベントの参加者の、開催頻度に対する回答を示したものである。図-4 には、イベント開催増加時の利用頻度を示す。実施したイベントに対して開催頻度を増やしてほしいという意見が多く、今後継続して行うことで利用者増加対策になると考えられる。また、図-4 で「変わらない」と回答した浜の利用者を引き付けるためには、他のイベントの実施も検討する必要があると考えられる。

(4) 冬季イベントの参加者の分析

図-5 は、冬季イベントで「星空マラソン」を知ったきっかけについて示したものである。10%未満のものは「その他」に分類した。図-6 は、ホームページの内訳について、図-7 は、参加理由に対する回答を示したものである。イベント参加者の多くはインターネット上で情報を集めている。特に、スポーツサイトなど、専門サイトの利用者が多く、今後イベントを行う際の宣伝方法は専門サイトなどで行うのが有効と考えられる。イベント参加の理由では「面白そう」と「体力づくり」の回答が多く、興味を引くようなユニークなイベントや体を動かすことのできるイベントを実施することにより、冬季の利用者増加対策になると考えられる。

3. まとめ

今回実施したイベントを今後継続して行うことで、利用者増加対策になると考えられる。冬季イベントの参加者の反応から、イベントを行う際の宣伝方法は、専門サイトで行うことが最適と考えられる。また、ユニークなイベントや体を動かすことのできるイベントを実施することにより、冬季の利用者増加対策になると考えられる。

参考文献

- 1) 大野哲也・矢内栄二 (2011)：いなげの浜における海浜イベントの実施と利用者の反応に関する研究, 第 38 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, (CD-ROM), II-38
- 2) 野辺裕太・矢内栄二 (2012)：いなげの浜における利用者意識の分析, 第 39 回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, (CD-ROM), II-33

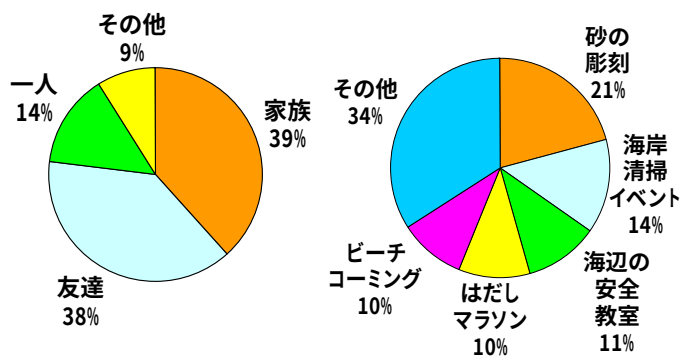


図-2 利用者の構成 (夏季)

図-3 利用者の望むイベント (2011)

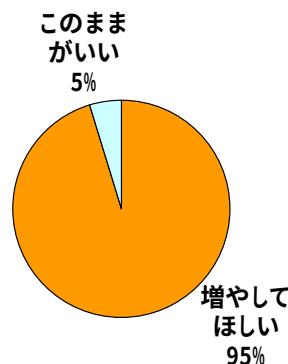


図-3 イベントの開催頻度

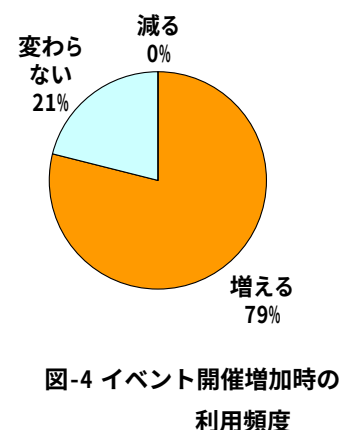


図-4 イベント開催増加時の利用頻度

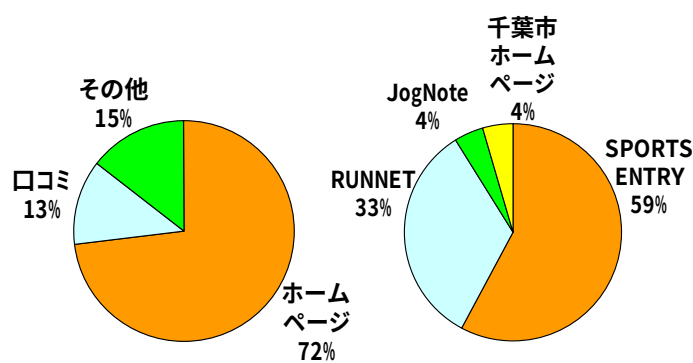


図-5 知ったきっかけ

図-6 ホームページの内訳

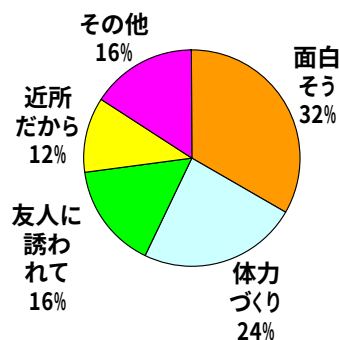


図-7 イベントに参加した理由